

- 問1 アメリカ合衆国の貿易構造に関する説明として、統計上の特徴や地理的背景を踏まえたものとして最も適切な記述はどれですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 広大な国土で生産された農産物の輸出額が、工業製品の輸入額を常に上回っているため、大幅な貿易黒字となっている。
 2. 地理的に隣接するカナダやメキシコが主要な貿易相手となっており、輸出額よりも輸入額の方が多い状態にある。
 3. 最大の輸出相手国は中国であり、スペインやドイツといったヨーロッパ諸国との貿易額が全体の8割を超えている。
 4. カナダとは輸出・輸入ともに活発な取引があるが、メキシコや日本との貿易額は極めて少なく、アジア圏との関わりは薄い。
- 問2 2016年の世界貿易の統計において、輸出額が約1.5兆ドルであるのに対し、輸入額が約2.2兆ドルに達しており、輸出額よりも輸入額が大幅に上回っていることが特徴である国はどこか、次の中から選びなさい。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 日本
 2. 中国
 3. アメリカ合衆国
 4. ドイツ
- 問3 アメリカ合衆国における移民の出身地域は、時代とともに大きく変化しています。1960年の統計ではヨーロッパ州からの移民が過半数を占めていましたが、2020年の統計ではその割合が激減し、代わって出身地域別人口割合で最も高い比率を占めるようになった地域はどこですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. アフリカ州
 2. 南北アメリカ州
 3. オセアニア州
 4. 東ヨーロッパ地域
- 問4 アメリカ合衆国のカリフォルニア州、サンフランシスコの南に位置する地域では、大学や研究機関と連携したICT（情報通信技術）関連企業が集まり、世界的な先端技術産業の拠点となっています。アジア系を含む多様な国籍の人材が集まっているこの地域の名称として適切なものを選びなさい。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. シリコンバレー
 2. デトロイト
 3. サンベルト
 4. ピッツバーグ
- 問5 北アメリカ大陸の北部など、高緯度地域に広がる、夏は短く冬の寒さが特に厳しい気候区分を何といいますか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 乾燥帯
 2. 冷帯（亜寒帯）
 3. 熱帯
 4. 温帯
- 問6 アメリカ合衆国の資源分布において、テキサス州付近やアパラチア山脈周辺で盛んに採取されているシェールガスが、同国の産業や社会に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
1. アラスカ州などの寒冷地にのみ埋蔵されている資源であり、そこから直接タンカーで輸出されるため、米国内のエネルギー自給率には影響を与えていない。
 2. 液化天然ガス（LNG）をさらに精製して作られる人工的な燃料であり、製造コストが非常に安いいため、全米の鉄道網の燃料として普及した。
 3. 石炭に代わる唯一の発電資源として開発され、現在ではアメリカ合衆国の総発電量のほぼ100%をまかなうようになっている。
 4. 新しい掘削技術によって頁岩層からの採取が可能になり、アメリカ合衆国はエネルギーの輸入国から輸出国へと転じるほど生産量を増大させた。
- 問7 アメリカ合衆国において、シリコンバレーが含まれる北緯37度以南の温暖な地域では、1970年代以降に新しい産業が急速に発展しました。この地域全体の名称と、シリコンバレーが中心的な役割を果たしている産業の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. サンベルト — 先端技術産業
 2. 太平洋ベルト — 自動車工業
 3. ラストベルト — 繊維工業
 4. スノーベルト — 重化学工業
- 問8 ある国の貿易統計において、輸出額ではアメリカ合衆国が約27万5千百万ドルと突出しており、次いでカナダ、中国、コロンビアの順となっています。また、輸入においてもアメリカ合衆国が第1位で、中国、日本、韓国、ドイツが続くという特徴を持つ国はどこですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. ブラジル
 2. メキシコ
 3. フィリピン
 4. アルゼンチン
- 問9 アメリカ合衆国と日本の農業統計を比較すると、アメリカ合衆国は日本に比べて農業従事者数が極めて少ない一方で、耕地面積と穀物生産量が圧倒的に多いという特徴があります。このような、少ない労働力で広大な土地を経営する農業のあり方を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 伝統的な農具を使用し、自然の降水のみに頼った環境負荷の低い小規模な生産を続けている。
 2. 多くの労働力を投入し、狭い土地から最大限の収穫を得るためのきめ細かな作業を行っている。
 3. 大型の機械を導入することで、一人あたりの耕地面積を広くし、効率的に大量の穀物を生産している。
 4. 一つの耕地で異なる種類の作物を時期をずらして栽培し、土地を休ませることなく活用している。
- 問10 北アメリカ大陸において、二つの大洋を結ぶ目的で1850年代から建設が進められた鉄道に関する記述として、歴史的・地理的背景を踏まえて正しいものはどれですか。 (2023年 東京都公立入試 類似)
1. シベリア鉄道に対抗して建設されたため、冬場の積雪による運休を避ける目的でパナマ運河に全機能を移転した。
 2. 当初から観光目的で建設されたため、パナマ運河開通後もその利用者数や経済的な役割に変化は見られなかった。
 3. パナマ運河が開通するまでは貿易上の重要な役割を担っていたが、運河開通後は役割が変化し、現在は観光資源にもなっている。
 4. アメリカ合衆国の独立直後に建設が始まり、1914年のパナマ運河開通と同時にすべての運行を終了した。
- 問11 1855年に開通し、大西洋と太平洋の二つの大洋をつなぐ物流の要として機能した北アメリカの鉄道について、20世紀初頭にその貿易上の役割が大きく低下した理由と、現在の主な活用方法として適切な説明はどれですか。 (2023年 東京都公立入試 類似)
1. オーストラリア連邦鉄道の成功により、羊毛輸送の拠点が南半球に移ったため、現在は軍事的な補給路として活用されている。
 2. スエズ運河の開通によって欧州からの航路が短縮されたため、現在は主に近隣諸国の通勤路線として活用されている。
 3. 1914年にパナマ運河が開通し、船舶による直接航行が可能になったため、現在は歴史的価値を生かした観光資源として活用されている。
 4. シベリア鉄道の全通により、ユーラシア大陸を経由する輸送が主流となったため、現在は大部分が貨物専用の廃線となっている。
- 問12 北アメリカ大陸に位置するアメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3か国が、互いの貿易を活発にするために関税を原則として撤廃することを目的として締結した協定の名称は何ですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 北米自由貿易協定（NAFTA）
 2. 東南アジア諸国連合（ASEAN）
 3. 欧州連合（EU）
 4. 環太平洋パートナーシップ協定（TPP）